

スタートしました 第七次総合計画後期基本計画



合併記念公園(原山)

- ※1 ユニバーサルデザイン
障がいの有無、年齢、性別などに関わらず、誰もが利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方
- ※2 生物多様性
多種多様な生物が存在し、それぞれに違いがあり、つながりあっていること
- ※3 歴史的風致
地域固有の歴史や伝統を反映した人々の活動と、その活動が行われる歴史上価値の高い建造物とその周辺の市街地とが一体となって形成してきた良好な市街地環境のこと

「やさしさ」のあるまちをめざして

地域における支えあいの仕組みをつくるとともに次代を担う子どもたちが健やかに育ち、高齢者や障がい者が安心して快適に暮らせる環境づくりをすすめます。

また、一人ひとりの健康づくりへの支援やいつでも安心して医療を受けられる環境づくりをすすめます。

《主な施策の概要》

- 関係機関などと連携した地域福祉体制の整備
- バリアフリーやユニバーサルデザイン

- 子どもを産み育てる費用の軽減
- 子育てと就労が両立できる労働環境の整備
- 地域包括支援センターの機能充実
- 高齢者が安心して生きがいをもって生活できる環境の整備
- 発達障がい児(者)の支援体制の充実
- 健康増進施設の整備
- 医療確保のための環境の整備
- 救急医療体制の確保

「おもいやり」のあるまちをめざして

恵まれた自然を守り活かすとともに美しい景観の形成をすすめます。また、道路など便利で機能的な交通体制の整備、誰もが安心して住み続けられる居住環境の整備、上・下水道の整備など都市施設の整備をすすめます。

さらに、環境問題への取り組みや資源循環型社会の実現、情報社会の恩恵を享受できる体制の整備、災害に強いまちづくりなど安全で快適に暮らせる環境づくりをすすめます。

- 《主な施策の概要》
- 生物多様性の意識の啓発

- 異業種連携や自治体間連携などによる森づくり
- 歴史的風致の維持向上
- 高速交通網の整備促進
- まちなか居住の推進
- 安全で安心な公共水道の利用促進
- 再生可能エネルギーの有効活用
- ケーブルテレビ事業の推進
- 防災意識の高揚と防災知識の普及啓発
- 災害時の迅速な情報提供
- 住宅火災対策の強化
- 防犯活動団体の育成・強化



障がい者モニターツアー

目標人口は 9万5千人に設定

高山市のあるべき姿として、やさしさとゆたかなところに包まれながら、多くの交流人口や活発な産業活動によるにぎわいのもと、子どもからお年寄りまで誰もがすみよさを実感し、元気で、安全で、安心して暮らすことのできるまちを目指し、都市像を「やさしさと活力にあふれるまち『飛騨高山』」とし、平成26年度の目標人口を9万5千人と決めました。

- この都市像の実現や目標人口の達成に向け、計画的な土地利用のもと、自らの生活を大切にすると、自らを出発点として
- ①安心して暮らせる「やさしさ」のあるまち
 - ②安全で快適な暮らしを実感できる「すみよさ」のあるまち
 - ③産業活動が活発な「にぎわい」のあるまち
 - ④こころの「ゆたかさ」のあるまち
- を目指したまちづくりをすすめます。

問合せ
企画課
☎35-331-31